



「図書館の魅力と活用方法」

木村 ちひろ

みなさんは図書館にどんな印象を持っていますか？棚にはたくさんの本が並んでいて、席には読書や勉強をしている人がいて、とっても静かな場所だという印象が強いのではないのでしょうか。私自身も学生だった頃はこのような印象が強かったです。が、私の変わったところは、このような大学構内では少し独特な空間を作り上げる図書館の虜になってしまったということでしょうか。静かと言っても、耳を澄ますと図書館ならではの音の世界が広がります。本を取り出すときの棚と本、本と本の擦れる音、紙をめくる音、辞書や図鑑を閉じる際のパタンという音。音1つを取っても、これが私の中で図書館の魅力へと変化していったのです。そして、私の場合は利用するだけでは飽き足らず、図書館のお仕事に興味を持つまでになり、図書館司書となって学生さんの学習・研究のお手伝いをしてきました。

大学図書館は公共図書館や高校の図書室とは異なり、棚のほとんどが専門的な資料で埋め尽くされています。今まで利用してきた図書館とは少し違う雰囲気で驚かれると思いますが、これが大学図書館の特徴でもあり、強みだと思います。学生生活を送る上で避けては通れないレポートの課題や実習中の調べ物など、たくさんの壁が立ちはだかることでしょう。みなさんの学習・研究を全力でサポートできるように数多くの資料を揃えてお待ちしておりますので、図書館に足を運んで是非とも立ちはだかる壁を乗り越えてください。

さらに図書館には資料以外にも様々な設備が整っています。レポート作成時に使えるメディアスペースのパソコンや、グループディスカッションができるグループ学習室などがあります。ちなみにどちらも予約制なので注意してくださいね。

図書館の活用方法についてほんの一例を挙げましたが、今や図書館は静かに勉強するだけの空間ではありません。図書館の使い方によっては様々な学習方法が可能になります。大いに図書館を活用して今後の学習・研究へとつなげてください。そして、自分なりの図書館の魅力を探してみたいはいかがでしょうか。